

2021

12月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



Choshi Shinkin Bank



1. 概 況

全体の景況感（全28店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	1	24	3
今後3か月程度の見通し	1	23	4

【漁業】

銚子港の令和3年11月の総水揚げ数量は6,058トンで、前月比+5,509トン、前年同月比▲4,140トンとなった。総水揚げ金額は1,404百万円で、前月比+1,041百万円、前年同月比▲590百万円となった。

【農業】

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場は、以下の通り。

キュウリ（等級：秀）1本当たり 高値 30円（前月比 ▲20円）安値 5円（前月比▲10円）

トマト（LMサイズ）4kg当たり 高値2,000円（前月比+200円）安値500円（前月比±0円）

新型コロナ感染者数減少により需要は回復傾向にあるが、植え替えが落ち着き供給は安定、相場は昨年同月比で横ばいとなっている。

【商業】

佐倉市では、市内の県立高校に通う生徒らが、持続可能な開発目標（SDGs）の観点から、地元特産品や規格外野菜を活用した7種類のスイーツを市内の飲食店などと協力して開発した。11月3日にはイオンタウンユーカリが丘で商品発表会があり、高校生が考案したこだわりのスイーツがお披露目された。12月19日までスタンプラリーを開催しており、各協力店舗でスイーツを販売する。

市や地元企業もコラボした産学官共同による連携プロジェクト「未来（あす）へつなぐSAKURAスイーツ」の一環。今年6月から佐倉市内の県立4校が集い「地域からのSDGs」という視点で課題を出し合いながら商品開発に取り組んだ。今回開発したのは、名産のみそをクリームに使ったティラミスや規格外野菜を材料とした7種類。市内などの4店舗で1個400～800円で販売。

【観光業】

香取市では、同市扇島の水郷あやめパークにおいて、園内を約5万個の発光ダイオード（LED）電球で彩る「冬のイルミネーション」が開催されている。色とりどりの電飾が幻想的な雰囲気を演出し、家族連れらを喜ばせている。12月26日までの金、土、日曜日と祝日限定。

密になりにくい屋外施設という利点を生かし、昨年に引き続き実施している。同パークの職員が1か月かけて準備し、手作り感が人気を呼んでいる。

開催日は午後4時半に一斉にライトアップ。園内が優しい光に包まれると来場者は散策を楽しんでいる。同パークの園長は「派手ではないが、温かみがある。地域の方々やお子さんにぜひ見てほしい」と呼び掛けている。点灯時間は午後7時までで、入場料は小学生以上が300円となる。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
				
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車
				

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の令和3年11月の総水揚げ数量は6,058トンで、前月比+5,509トン、前年同月比▲4,140トンとなった。総水揚げ金額は1,404百万円で、前月比+1,041百万円、前年同月比▲590百万円となった。

勝浦港の令和3年11月の総水揚げ数量は384トンで、前月比+20トン、前年同月比106トンとなった。総水揚げ金額は244百万円で、前月比+86百万円、前年同月比+68百万円となった。

波崎の巻き網船団は、八戸沖でサバ中心の操業であった。稼働日数は10日（前年同月比▲5日）。前年同月対比で数量・金額共に減少。

サバの南下は遅れており、八戸沖でのサバの操業は低調に推移した。北部太平洋沖管内でのサバはまだ小ぶりである。

銚子漁港では11月22日、昨年より41日遅れで今季初のサンマが水揚げされた。この日水揚げされたのは1隻で17.7トン。1キロ当たり平均641円で、昨年の663円を下回った。

サンマ漁は近年、全国的に不漁が続く。銚子漁港の水揚げも平成以降で見ると、最大6万5千トンあったのが、2019年620トン、2020年476トンと100分の1以下になっている。さらに燃料費の高騰が追い打ちをかけ、漁業者からは「燃料費で水揚げが消えてしまう」と厳しい声上がる。

銚子魚市場水揚げ高

銚子市漁業協同組合調べ

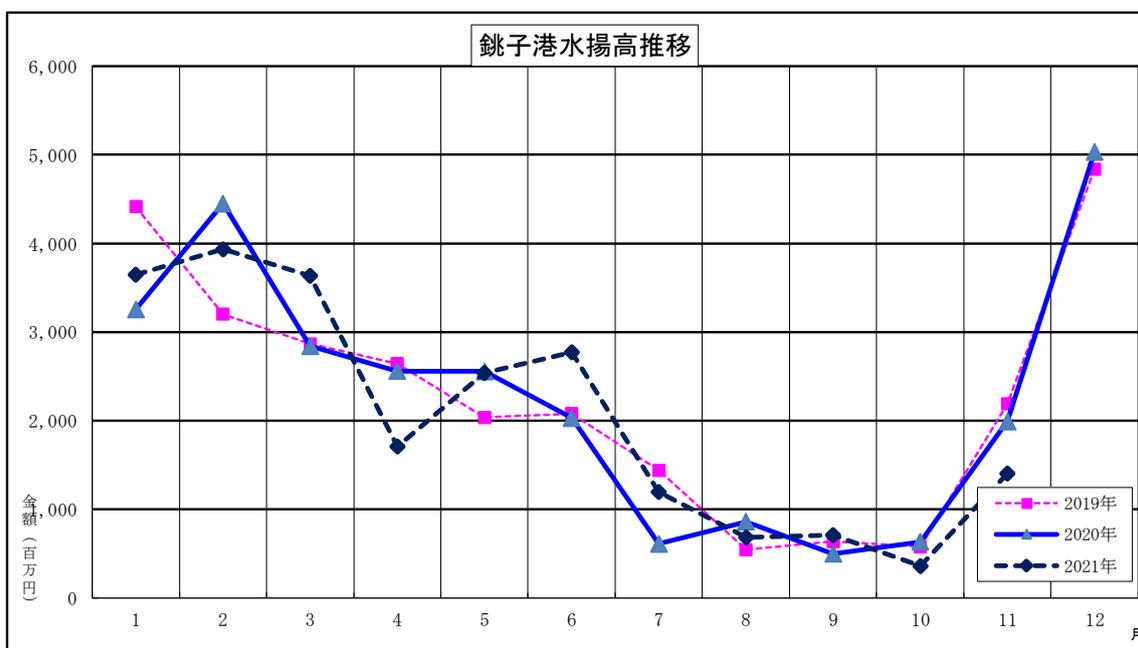
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		2021年11月	前年同月	前年同月比	2021年11月	前年同月	前年同月比
鰯		0	90	▲ 90	0	8,791	▲ 8,791
鯖		5,195	7,842	▲ 2,647	742,380	1,051,777	▲ 309,397
鰹		59	265	▲ 206	12,584	50,282	▲ 37,698
鰹・鯖		271	437	▲ 166	337,103	339,322	▲ 2,219
(内鰹一本釣)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
秋刀魚		18	257	▲ 239	12,307	123,496	▲ 111,189
底曳		216	174	42	127,487	83,035	44,452
その他		299	1,133	▲ 834	171,688	336,757	▲ 165,069
合計		6,058	10,198	▲ 4,140	1,403,549	1,993,460	▲ 589,911

前月比	数量	1103.46%
	金額	386.88%
前年同月比	数量	59.40%
	金額	70.41%

水揚げ日数



	2021年11月	2021年10月	2020年11月
鰯	0日	0日	5日
鯖	5日	1日	14日
鰹	10日	4日	7日
鰹・鯖	19日	14日	19日
(内鰹一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	1日	0日	1日
底曳	20日	15日	12日
その他	24日	24日	23日



■ 農 業

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場は、以下の通り。
 キュウリ（等級：秀） 1本当たり 高値 30円（前月比 ▲20円）安値 5円（前月比▲10円）
 トマト（LMサイズ）4kg当たり 高値2,000円（前月比+200円）安値500円（前月比± 0円）
 新型コロナウイルス感染者数減少により需要は回復傾向にあるが、植え替えが落ち着き供給は安定、相場は昨年同月比で横ばいとなっている。

横芝光町特産のひかりねぎの相場は1箱（5.5kg）上 1,821円、下 846円で取引された。

銚子地区のキャベツ・青首大根の価格相場は、以下の通り。
 キャベツ 買値350円、売値600円 / 青首大根 買値300円、売値600円
 どちらも平年より安値で推移。葉物は前年と比べ30%減少。東北地方では例年通りであれば主要野菜の収穫は少量であるが、暖冬の影響により収穫が可能となり、銚子産キャベツの需要が減少している。
 新型コロナウイルスの影響緩和により需要が高まると予想されるも、鍋物の飲食店及び家庭での消費が伸び悩むことも安値の要因となっている。12月以降も本格的なシーズンとなるが、例年通りの季節需要は期待できない現状。

■ 商 業

佐倉市では、市内の県立高校に通う生徒らが、持続可能な開発目標（SDGs）の観点から、地元特産品や規格外野菜を活用した7種類のスイーツを市内の飲食店などと協力して開発した。11月3日にはイオンタウンユーカリが丘で商品発表会があり、高校生が考案したこだわりのスイーツがお披露目された。12月19日までスタンプラリーを開催しており、各協力店舗でスイーツを販売する。

市や地元企業もコラボした産学官共同による連携プロジェクト「未来（あす）へつなぐSAKURAスイーツ」の一環。今年6月から佐倉市内の県立4校が集い「地域からのSDGs」という視点で課題を出し合いながら商品開発に取り組んだ。今回開発したのは、名産のみそをクリームに使ったティラミスや規格外野菜を材料とした7種類。市内などの4店舗で1個400～800円で販売。

多古町では、創業20周年の道の駅多古あじさい館にて11月7日まで「秋の大収穫祭」が開かれた。多古米の重量当てや県立多古高校の生徒が栽培した花の販売、日本航空（JAL）の特製食パンの限定販売など、様々な企画が行われた。

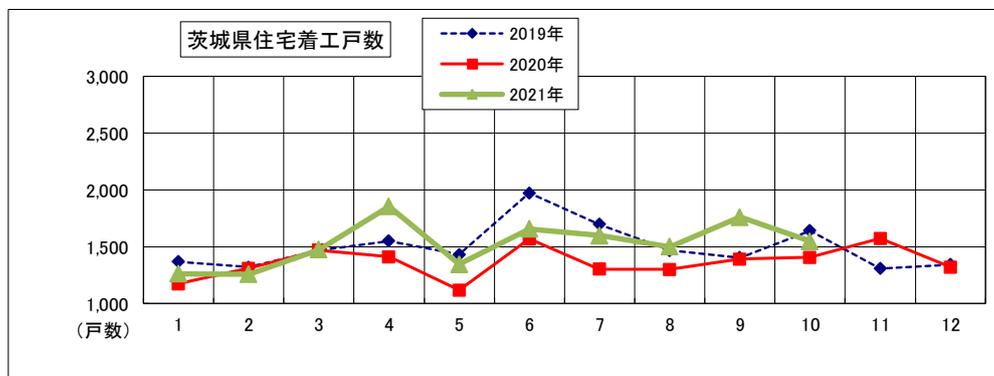
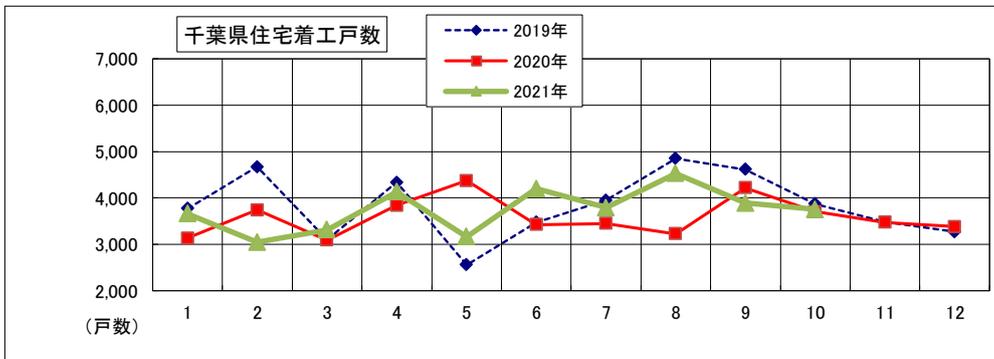
多古米の重量当ては店内の特設会場で行われ、「ピッタリ賞」と「ニアピン賞」計4人に商品が当たる。多古高生のシクラメンは店頭花売り場に陳列された。JALのファーストクラスで提供されているテーブルブレッドを食卓サイズにした食パンは、3日と7日の午後2時に各日30個限定で販売。他にも、農産物のタイムセールなどの企画がめじろ押しとなった。

■ 建設業

令和3年10月の住宅着工戸数は、千葉県で3,753戸と前年同月比101.4%（+51戸）、茨城県では1,548戸で前年同月比110.0%（+141戸）となった。前月（令和3年9月）比では、千葉県で▲134戸、茨城県では▲213戸となった。

千葉県・茨城県の住宅着工推移は以下のとおり。

	2021年10月	前月戸数	増減
千葉県	3,753	3,887	▲ 134
茨城県	1,548	1,761	▲ 213



国土交通省統計情報より

■ 観光業

香取市では、同市扇島の水郷あやめパークにおいて、園内を約5万個の発光ダイオード（LED）電球で彩る「冬のイルミネーション」が開催されている。色とりどりの電飾が幻想的な雰囲気を演出し、家族連れらを喜ばせている。12月26日までの金、土、日曜日と祝日限定。

密になりにくい屋外施設という利点を生かし、昨年に引き続き実施している。同パークの職員が1ヵ月かけて準備し、手作り感が人気を呼んでいる。

開催日は午後4時半に一齐にライトアップ。園内が優しい光に包まれると来場者は散策を楽しんでいる。同パークの園長は「派手ではないが、温かみがある。地域の方々やお子さんにぜひ見てほしい」と呼び掛けている。点灯時間は午後7時までで、入場料は小学生以上が300円となる。

いすみ市では、既存のものを生かして新たな価値をつくり出すことや循環型の暮らしをテーマにしたイベント「国吉芸文祭」が、いすみ市荻谷の旧剣道場で初めて開かれ、古本市やエコバッグ販売、土パネル制作ワークショップが行われた。古本販売を通じていすみ鉄道や地域を応援する「い鉄ボックス」と衣服リメイクを手掛ける「マチノイト」、素材の再利用に取り組む「いすみ古材研究所」が集まって企画。連携して国吉地域の持続可能な暮らしや「エリアリノベーション」に貢献しようと、団体「コモンズいすみ」を結成して活動している。

マチノイトは、不要になった布や衣類をリメイクしたエコバッグを販売。古本市はい鉄ボックスの他、読み終えた本を個人で販売する5店が並び、来場者は気になった本を次々と手に取っていた。

■ 不動産業

千葉市では、市内において商品物件が少なく競合により仕入価格が高騰しているため、適正価格での仕入が困難となっている。

茂原市では、コロナ禍でのリモートへの勤務形態の変化から、東京より1時間程度で中古で広い物件の相談は多いが扱う物件の数は不足している。オリンピックのサーフィンの影響から一宮町付近の人気も続いているが物件が少なく、周辺の長生村やいすみ市近辺まで探しているが、既に業者に買い占められている状態。

■ 養豚業・畜産業

令和3年11月の東京市場での豚枝肉（上）卸売価格相場は493円/kgとなり、前月比▲34円/kg、前年同月比で▲38円/kgとなった。

鶏卵（Mサイズ）卸売価格は207円/kgとなり、前月比▲6円/kg、前年同月比で+36円/kgとなった。

独）農畜産業振興機構／JA全農たまご(株) 統計情報より

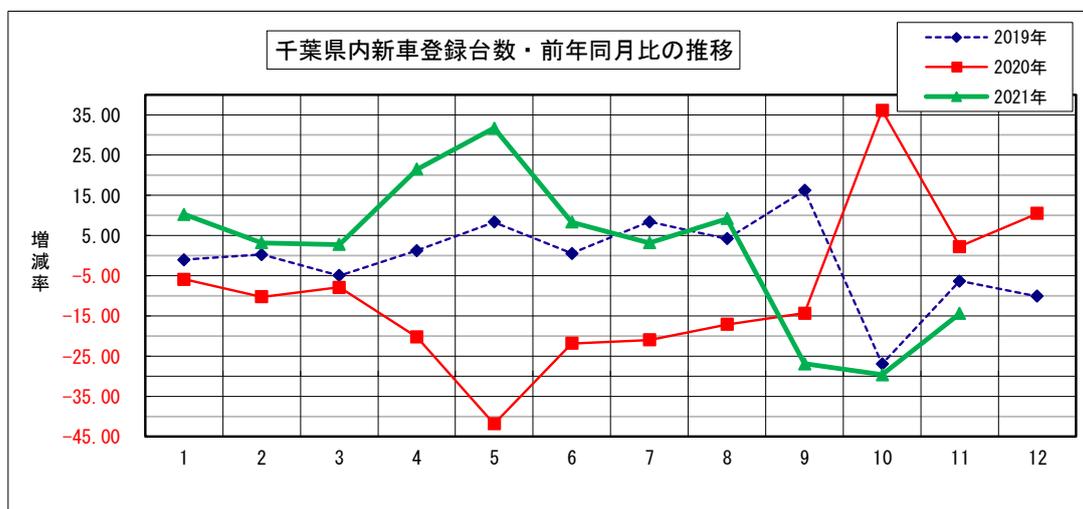
■ 自動車ディーラー

令和3年11月における千葉県内の登録車新車販売台数（軽自動車除く）は前年同月比14.4%減の10,366台（前年同月12,113台）で、3ヵ月連続で前年実績を下回った。

占拠率は1位がトヨタ（47.4%）、2位はホンダ（13.1%）、3位は日産（9.9%）となった。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		2021年11月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	5,180	4,282	120.97%	6,459	80.20%
	小型	3,595	2,787	128.99%	3,859	93.16%
	小計	8,775	7,069	124.13%	10,318	85.05%
貨物	普通	522	432	120.83%	650	80.31%
	小型	796	594	134.01%	831	95.79%
	小計	1,318	1,026	128.46%	1,481	88.99%
特殊等	特殊	255	294	86.73%	292	87.33%
	バス	18	15	120.00%	22	81.82%
	小計	273	309	88.35%	314	86.94%
総合計		10,366	8,404	123.35%	12,113	85.58%



一社）日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	2021年10月	前月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.86	0.82	0.04	0.77	0.09
茂原公共職業安定所管内	1.01	1.00	0.01	0.89	0.12
いすみ公共職業安定所管内	0.99	0.88	0.11	0.71	0.28
成田公共職業安定所管内	0.73	0.72	0.01	0.68	0.05
佐原公共職業安定所管内	0.83	0.82	0.01	0.73	0.10
千葉県	0.85	0.84	0.01	0.86	▲ 0.01

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原 調べ

倒産

【令和3年11月度】

2021年（令和3）年11月度の企業倒産件数は19件、前月比1件増（5.5%増）、前年同月比5件増（35.7%増）で、平成と令和を通じた過去33年間の11月単月では2016年（平成28年）の18件に次いで5番目に少ない件数となった。

産業別では『サービス業他』が8件（構成比42.1%）で最多、次いで『建設業』が4件（構成比21.1%）となった。

資本金別では『300万円以上（1000万円未満）』が8件（構成比42.1%）、『1000万円以上（3000万円未満）』が5件（構成比26.3%）となった。

従業員別では『5名未満』が12件（構成比63.2%）となり、引き続き小規模事業者の倒産が目立った。

原因別では『業績不振』が16件（構成比84.2%）で最多となった。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて倒産した「新型コロナ関連倒産」については7件発生（負債総額1000万円以下の小口倒産1件を含めると8件、弁護士一任状態の経営破綻まで含めると9件）した。

倒産形態別では『破産』が18件（構成比94.7%）となり、再生型の法的手続きは発生しなかった。

緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除後も感染再拡大を防止する観点から対策の緩和は段階的なものとし、11月の新規感染者数は先月に引き続き大幅に抑えられた。ただ、対策の緩和を限定したことで規制の対象にある事業者の回復度合いは鈍く、東京商工リサーチが10月に実施した「第18回千葉県新型コロナウイルスに関するアンケート調査」では県内企業の約7割が忘年会・新年会は「開催しない」と回答。緊急事態宣言解除後も多くの企業で慎重な対応が続いており、年末・年始商戦も苦戦が予想される。さらに足元では半導体・部品供給不足、エネルギーコスト・原材料価格の高騰などが幅広い業種を対象にマイナスの影響を与えており、景気回復の大きな足かせとなっている。

企業倒産に関して、「ゼロ・ゼロ融資」を中心とした各種事業者支援を背景に厳しい経済環境が続くなかでも、企業倒産件数は低水準で推移。11月までの累計企業倒産件数は184件、前年同月比で34件少なく、前々年同月比では54件も少ない。また、単月ごとの倒産件数に占める「新型コロナ関連倒産」については、8月20.0%（15件中3件）、9月37.5%（16件中6件）、10月38.9%（18件中7件）、11月36.8%（19件中7件）と推移。新型コロナ関連倒産についても急激な増加はみられていないが、9月以降、企業倒産の3社に1社は「新型コロナ関連倒産」で占められている。

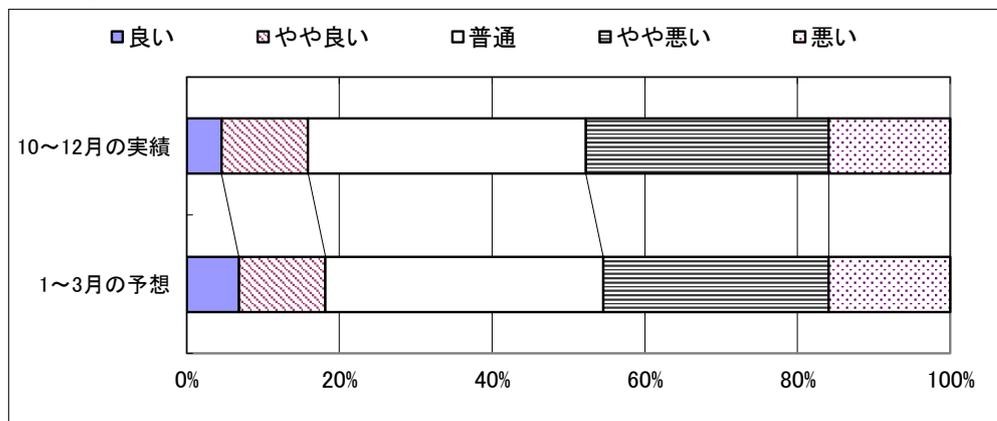
上場企業の中間決算（2021年4～9月）では多くが改善傾向を示しているが、未だコロナ禍の影響で業績不振が続いているケースもあり、中小企業でも同様の傾向とみられる。また、新変異株（オミクロン株）の拡大、半導体・部品供給不足、エネルギーコスト・原材料価格の高騰など不安材料は山積しており、先行きは楽観視できる状況にはない。特に体力の消耗が続く中小企業においては資金繰り支援の副作用として浮上している過剰債務問題が深刻化しているケースも見受けられる。

（株）東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より

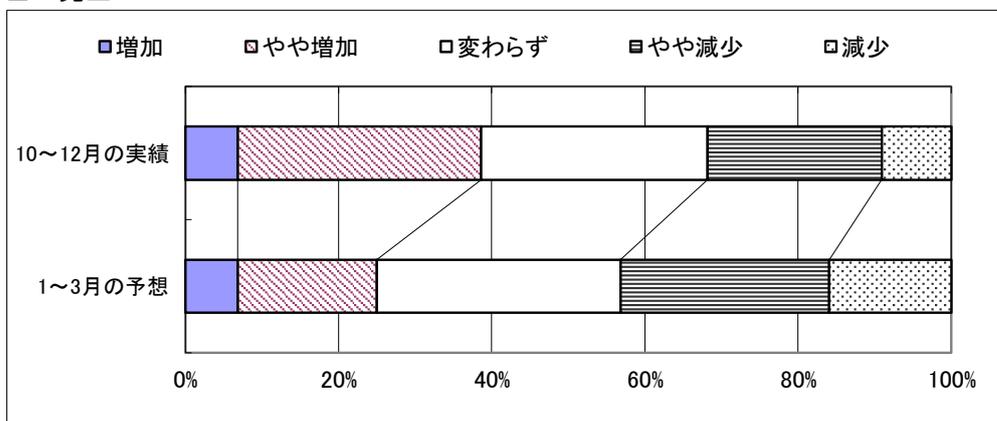
特集 第186回全国中小企業景気動向調査 当金庫分集計速報

本調査は全国各地の信用金庫において、年4回、四半期ごとに対象先企業の景気動向を聴き取り調査し、信金中央金庫が分析・集計しているものです。
 当金庫の対象先は営業店23店舗の顧客44先で、内訳は製造業17先、卸売業7先、小売業6先、サービス業4先、建設業6先、不動産業4先となっています。全国の集計結果は後日公表されますが、今回は12月初旬に行った当金庫の調査対象先の集計を、速報として掲載します。

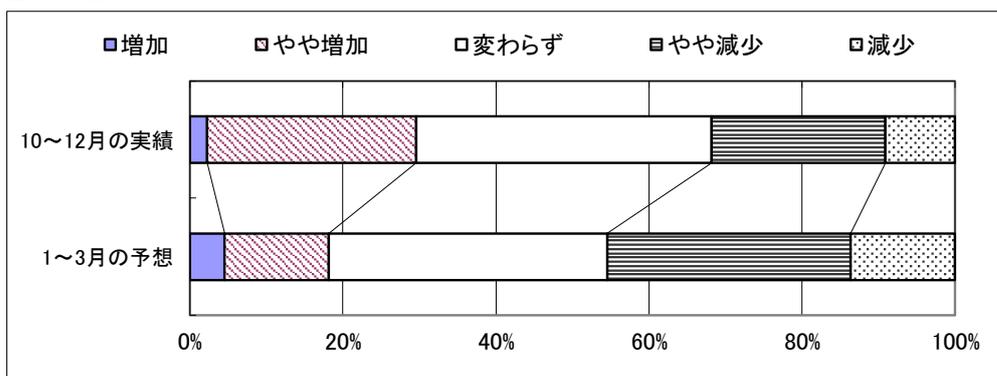
■ 業況



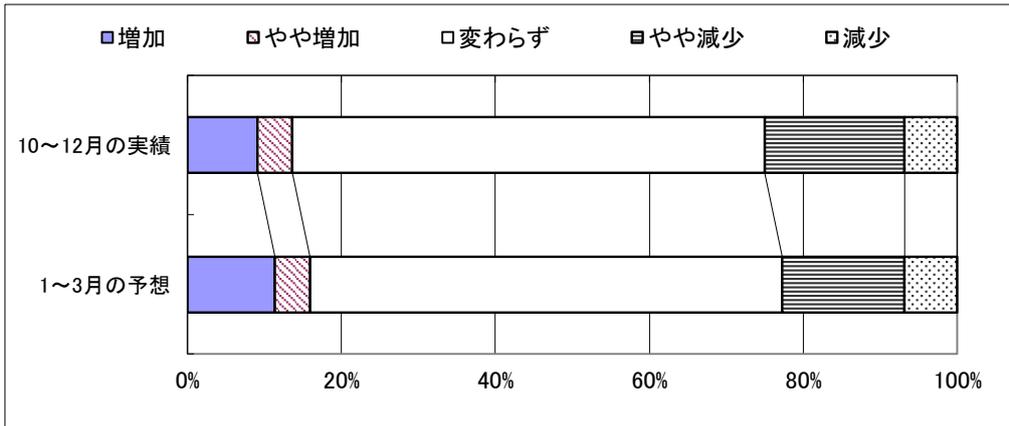
■ 売上



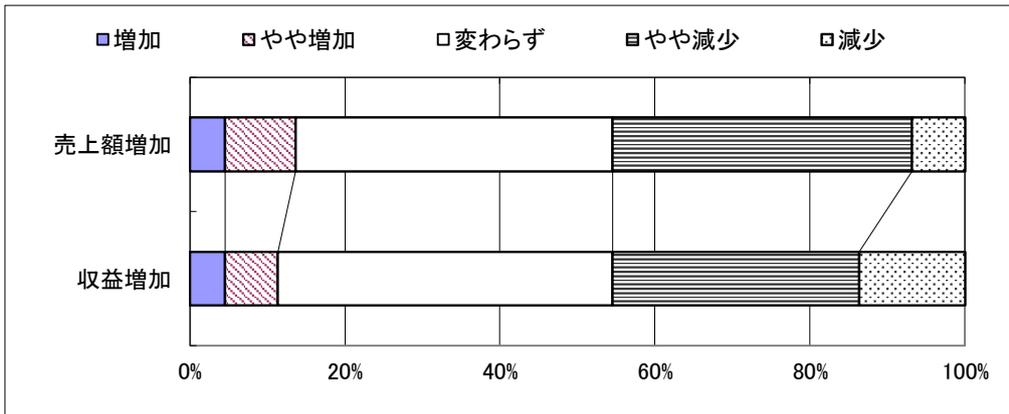
■ 収益



■ 資金繰り



■ 昨年同期比の売上・収益



経営上の問題点（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 原材料高 ■ 工場・機械の狭小・老朽化 ■ 人手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 仕入先からの値上げ要請 ■ 同業者間の競争の激化 ■ 人件費の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 利幅の縮小 ■ 仕入先からの値上げ要請 ■ 商圏人口の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人手不足 ■ 材料価格の上昇 ■ 店舗・設備の狭小・老朽化 ■ 売上の停滞・減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 材料価格の上昇 ■ 人手不足 ■ 同業者間の競争の激化 ■ 下請けの確保難 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 同業者間の競争の激化 ■ 利幅の縮小 ■ 商品物件の不足

当面の重点経営施策（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 人材を確保する ■ 新製品・技術を開発する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 新しい事業を始める ■ 流通経路の見直しをする 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売れ筋商品を取扱う ■ 品揃えを改善する ■ 仕入先を開拓・選別する ■ 経費を節減する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 新しい事業を始める ■ 人材を確保する ■ 経費を節減する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術力を高める ■ 人材を確保する ■ 情報力を強化する ■ 経費を節減する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 宣伝・広告を強化する ■ 不動産の有効活用を図る

銚子市
銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
独立行政法人 農畜産業振興機構
JA全農たまご 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
(順不同)

※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫
編集；地域サポート部
住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話；0479-21-5522
FAX；0479-24-4591
E-mail；suishin@choshi-shinkin.co.jp
URL；http://www.choshi-shinkin.co.jp



ちょうしんきん 相談会・セミナーのご案内



ちょうしんきんでは、(一社)千葉県中小企業診断士協会と連携した経営相談会や、千葉県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業承継に関する個別相談会を、営業エリア内の各地で開催しています。

また、法律や税務等に関する無料相談会を本店で毎月開催しています。いずれも、ご参加・ご相談は無料です。お気軽にご参加ください。

経営相談会

◆ 2022年2月16日(水) 開催場所：神栖支店

事業承継に関する個別相談会

◆ 2022年1月19日(水) 開催場所：旭中央支店

◆ 2022年3月16日(水) 開催場所：東金支店